

会長賞	受賞者名	西ノ島小中学校校舎・屋内運動場建設工事（建築主体）工事事務所
	所在地	島根県隠岐郡西ノ島町
	受賞テーマ	離島における 3 R への取り組み ～CO₂削減と産業廃棄物の分別徹底による再資源化～
<p>同工事は島根半島から日本海を北東に約 65 キロの位置にある隠岐諸島、その中の一つである西ノ島で小中学校を建設する工事である。施工にあたっては、ほぼ全ての資材を本土から船で海上輸送しなければならず、産業廃棄物の処理についても十分な施設がない状況であった。受賞者は、そのような条件の中でも 3 R 活動に積極的に取り組んでいくことで、現場全体に 3 R の意識を広めていった。</p>		
<p>【リデュース（発生抑制）】</p> <p>①鋼製デッキプレートの使用によるCO₂削減 離島での工事では、ほぼ全ての資材を本土から船で海上輸送しているが、資材を運ぶ船は燃料に重油等を使用しており、CO₂を排出しているため、輸送回数が少なくなるほどCO₂の削減となる。当現場では、当初は通常の型枠スラブせき板を使用する予定であったが、輸送回数を減らすために、できる限り鋼製のデッキプレートを使用することでCO₂の削減を図った。</p> <p>②軽量ビームの採用によるCO₂等の削減 同様に勾配屋根のスラブ支保工に軽量ビームを採用することで、支保工用仮設材の省略化を図った。また、輸送回数を減らすことでCO₂の削減および工期短縮による電力消費の削減にもつながった。</p> <p>③産業廃棄物保管に伴う折りたたみ容器の採用によるCO₂削減 産業廃棄物の保管に使用する容器に鉄製で折りたたみ式のものを採用した。かさばらないために一度に多くの容器を運べ、輸送回数を減らすことができ、CO₂削減につながった。</p>		
<p>【リユース（再使用）】</p> <p>④掘削土の再使用 掘削土は大部分を埋め戻し土として再使用し、残った土も同じ敷地内の別工事で再使用する予定である。</p>		
<p>【リサイクル（再利用）】</p> <p>⑤産業廃棄物の分別徹底および再資源化 現場から排出される産業廃棄物については、排出される品目それぞれのコンテナを設置し、分別収集を徹底することで、混合廃棄物の減量化を図るとともに、廃プラスチックをRPF化するなど、できる限りの再資源化を実施した。</p>		
		 <p>運搬船への資材等積み込み状況</p>
		 <p>鋼製デッキプレート使用状況</p>
		 <p>軽量ビームの取り付け状況</p>